

よびぞろえ

えしん
回心

自分が可愛い
ただ それだけのことで
生きていた
それが
深い悲しみとなつたとき
ちがった世界が
ひらけて来た

浅田正作

難民問題で国際的に活躍されているある方が、こんなことをおっしゃっていた。

「国際的に共通の大切な言葉が三つある。これを知っていれば、どんな所へ行っても最初の門が開かれる。それは、ごめんなさい・ありがとう・プリーズの三つです。また、それは、家庭内においても、当然基本的な言葉であり、幼いときから身につけておくべき言葉です。」と。

「ごめんなさい」という言葉がないということは、そこには自己主張がなく、善はわれにあり悪は他にあると、互いに他の存在を無視し排除することばかり。それは、弱肉強食の在り方であり、弱者はもちろん強者



浄土真宗

仏光寺派
光明山
光善寺

〒915-0802

越前市北府2丁目2-18

TEL 0778-22-1222

も傷つき、結局は孤独におちいる地獄の世界だ。

「ありがとう」がないのを餓鬼という。ものが無ければ無いで不足を言い、有ればさらに上を望んで不満を言う。「おかげさま」をいただく心を失い、「してやった」ことばかりがふくらんでゆく。

「プリーズ」とは、まわりの人のことを思いやり、自分にできる限りのことをしてあげたいと願う心。その「プリーズ」のない世界は、自分のことしか考えない自己中心の世界。それは快樂を追い求め、自分で責任をになうことなく、他人に要求ばかりしている畜生の世界。

さて、わたしはこの地獄・餓鬼・畜生の三悪道を歩いてはいないだろうか。

